

平成 28 年度 就学前人権教育研究協議会 B（実技的演習） 実施要項
一人権教育の観点から多様な課題に応え、スキルを高める一

- 1 目的 言葉・感性の育成、保護者との対応、障がい理解等の多様な課題に対して、人権教育の観点に立って、その在り方と指導スキルについて、実践的な研修を実施する。
- 2 対象者 保育所保育士、認定こども園保育教諭、地域型保育事業保育士及び
認可外保育施設保育従事者
募集人数 150 名

3 研修内容等

回	日時	研修内容	講師等
1	10月17日（月） 14:00～17:00	【第1分科会】 「子どもと子どもがつながる集団づくり」 ー遊びを通して関係を育もうー [講演・ワークショップ]	大阪多様性教育ネットワーク 共同代表 沖本 和子
		【第2分科会】 気持ちをことばに ー自分の感情に気付き、伝え合う力の育成をめざしてー [講演・ワークショップ]	摂津市立鳥飼西小学校 教諭 井野 香子 吹田市立千里第二小学校 教諭 池田 佳奈子
		【第3分科会】 「障がい理解」にもとづいた子ども・家族への支援と人間関係づくり [講演・演習]	和歌山大学大学院 教授 衣斐 哲臣
		【第4分科会】 子どもの人権 ー子どもの虐待防止に向けてー [講演・演習]	大阪府中央子ども家庭センター 総括主査 松村 由貴 南森 早輝

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当課 大阪府福祉部子ども室子育て支援課
- 6 その他 (1) 受付は30分前から
(2) 印鑑を持参すること
(3) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること
(4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと
(5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと

平成 28 年度 研修のシラバス

1. 研修名	<p>就学前人権教育研究協議会 B（実技的演習） 一人権教育の観点から多様な課題に応え、スキルを高めるー （研修番号 5170）</p>
2. 研修のねらい	<p>言葉・感性の育成、保護者との対応、障がい理解等の多様な課題に対して、人権教育の観点に立って、その在り方と指導スキルについて、実践的な研修を実施する。</p> <p>目 標</p> <p>① 人権が尊重された就学前教育の在り方について理解する。 ② 講演を通して、子どもを見る視点や人間関係づくりの大切さについて認識を深める。 ③ 演習等を通して、子どもや保護者への支援の在り方について展望を持つ。</p> <p>「OSAKA 教職スタンダード」該当項目：第 1・2 期 1・9・11・13・15</p>

3. 研修課題とねらい等

回	研修テーマ	内 容	準備物・事前課題
1	<p>第 1 分科会 子どもと子どもがつながる集団づくり ー遊びを通して関係を育もうー</p>	<p>さまざまな遊びの体験を通して、実際に体を動かしながら、心も体もほぐれていく心地よさを感じる。また、子ども一人一人を大切にすることや集団づくりの大切さについても学ぶ。</p>	<p>受講者決定時に別途通知します</p>
	<p>第 2 分科会 気持ちをことばに ー自分の感情に気付き、伝え合う力の育成をめざしてー</p>	<p>気持ちのイラストを使ったワークなどを体験する中で、自分の気持ちに向き合い表現することや、人とつながることの大切さについて理解を深める。また、子どもたちが安心して学び合うために必要な事確かめる。</p>	
	<p>第 3 分科会 「障がい理解」にもとづいた子ども・家庭への支援と人間関係づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講演を通して、発達課題のある子どもやその保護者への支援と対応について、具体的な事例から学ぶ。 ・演習を通して、困難な場面における対応の方法や考え方について、ロールプレイや実践交流から学ぶ。 	
	<p>第 4 分科会 子どもの人権 ー子どもの虐待防止に向けてー</p>	<p>虐待が引き起こされる構造や被虐待児童の特徴について理解するとともに、グループワークを通して、実践的事例を学びながら各自が振り返る機会とし、虐待の発見・通告のポイントを学ぶ。</p>	